

みんなを驚かせる設計士

京都教育大学附属京都小中学校 六年 花川 峻誓

僕は昔からスリルがある事が好きだった。特にジェットコースターが好きで、その理由は、とてもスリルがあつて楽しいし、乗った後が気持ちいいからだ。だから、いつかジェットコースターの設計士になりたいと思つた。

そこで、ジェットコースターの設計士になるための方法をしらべてみたところ、設計士になるには、工学部機械学や理学部物理学科がある大学や専門学校に入学しないといけない。そして、ジェットコースターは法律上、エレベーター・エスカレーターなどの昇降機の扱いになるので、そういった技術を専門的に学ぶ必要がある。学校を卒業後、遊戯機械を企画・製造する会社に就職することがほぼ唯一の方法らしい。しかし、日本では一から設計している企業はほぼなく、殆どの場合、海外製品をもとにカスタマイズする形になっている。

でも、僕がやりたいのは自分でアイデアを出し、世界一恐いジェットコースターを設計することだ。そのためには、海外の企業に就職する必要があるが、僕は英語が苦手だ。

そこで、更に調べてみると、日本で唯一設計から施行まで手掛けている会社があつた。それが、「三精テクノロジーズ」だ。ここはなんとナガシマシパランドにある「白鯨」をつくつた会社である。「白鯨」とは、白い木製の構造体に、鋼鉄を組み合わせたハイブリットコースターだ。僕も初めて乗つた時はまるで自分が嵐の中の海を泳いでいる鯨になつたような気持ちになつてとてもおもしろかつた。

だから、僕はこんなジェットコースターを作る会社に入社し、夢をかなえたいと思つた。そのためには、今から理数系の勉強を中心に、しっかりと勉強し大学

に進学したいと思う。また、三精テクノロジーズは米国企業やオランダ企業を子会社しているため、自分のスキルアップを目ざし、それらの海外の企業でも働いてみたい。

そのために、苦手な英語を克服し、英語をつかつて、いろんな国の人たちとコミュニケーションを取れるぐらいの語学力をつけたい。だから、学校だけではなく、家でも英語の勉強をして、英検などを受けたいと思う。

小さいころからいろいろ物を作るのが好きだつた僕。マイクラのゲームであふれ出すアイデアを形にしていくのが好きな僕。そんな僕が精一杯の努力を続け、世界中の人々が驚き、そして笑顔になれるようなジェットコースターを僕は作つてみせる。

花川 峻誓 のライフプラン

将来なにになりたいか? 設計士 (ジェットコースター)

その理由: 世界で一番恐いジェットコースターを作りたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12(小6)	習い事のプログラミングを始める	プログラミングのレッスン
2023年	13(中1)	英検を受ける トファイル ステップ2をめざす	受検料
2024年	14(中2)		
2025年	15(中3)	受検勉強	
2026年	16(高1)	理科系と英語の勉強を始める	入学費
2027年	17(高2)	人ばる	
2028年	18(高3)	工学部機械学科がある大学に合格するように勉強を始める。	
2029年	19(大1)	大学入学	入学費
2030年	20	TOEIC 受検	
2031年	21	大学そつぎょう	
2032年	22	三精テクノロジーズに入社	
2033年	23	遊戯機械設計部に配属	
2034年	24		
2035年	25		
2036年	26	海外グループ会社で働く	海外で生活するための費用
2037年	27		
2046年	36	有名な設計士になる。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!